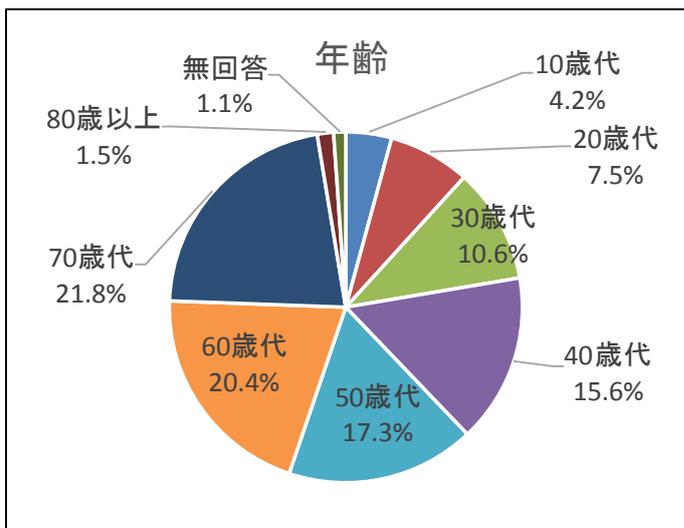
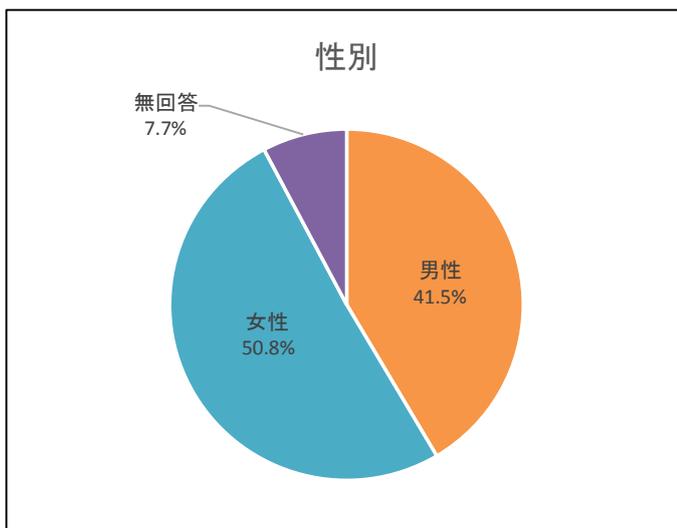


令和4年度 市民意識調査の結果をお知らせします

市政運営の参考にするために市内にお住まいの16歳以上の方を対象に、年齢構成に合わせた無作為抽出により2,000人を選ばせていただき、市民意識調査を実施しました。今回の調査でも、多くの方々にご協力いただき、ありがとうございました。その調査結果をお知らせします。

■調査票回答数・回答率

配布数	2,000 件
回答数	776 件
回答率	38.8%



全回答者の年齢ごとの割合を比較すると70歳代が21.8%と最も高く、80歳以上の1.5%が最も低くなっていました。60代以下については、年齢が若くなるほど回答率も低下する傾向がみられました。

調査票回答・ネット回答割合

調査票回答	598 人 (77%)
ネット回答	178 人 (23%)

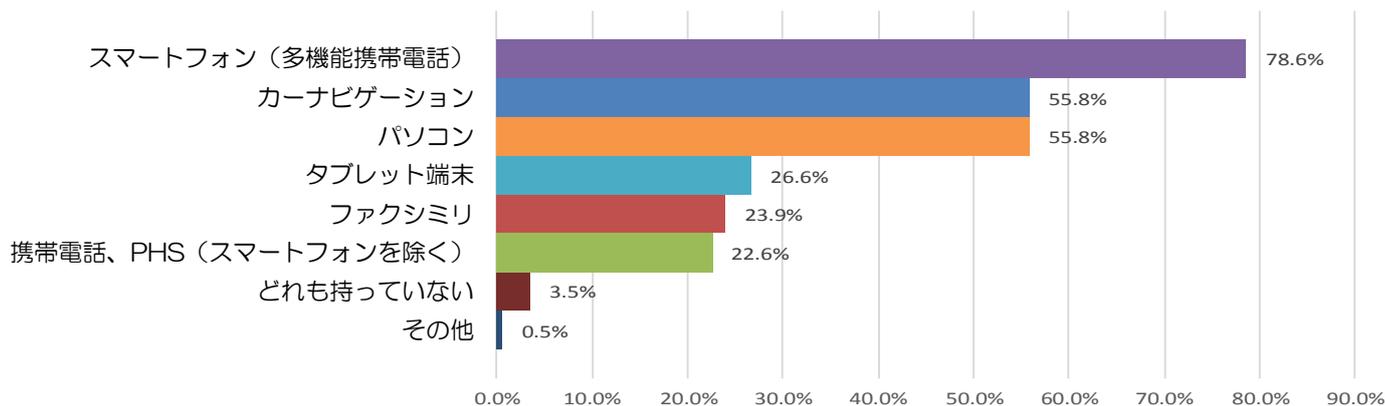
ネット回答者・年代比較

10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
54.5%	50%	47.6%	33.1%	23.1%	9.5%	3.6%	0%

ネット回答者の年代比較については、若い世代ほどネット回答の割合が高く、特に10歳代の回答者は半数以上がネット回答となっていました。

■ 行政のデジタル化について

問1 あなたが持っている情報通信機器を次の中から選んでください。(複数回答可)



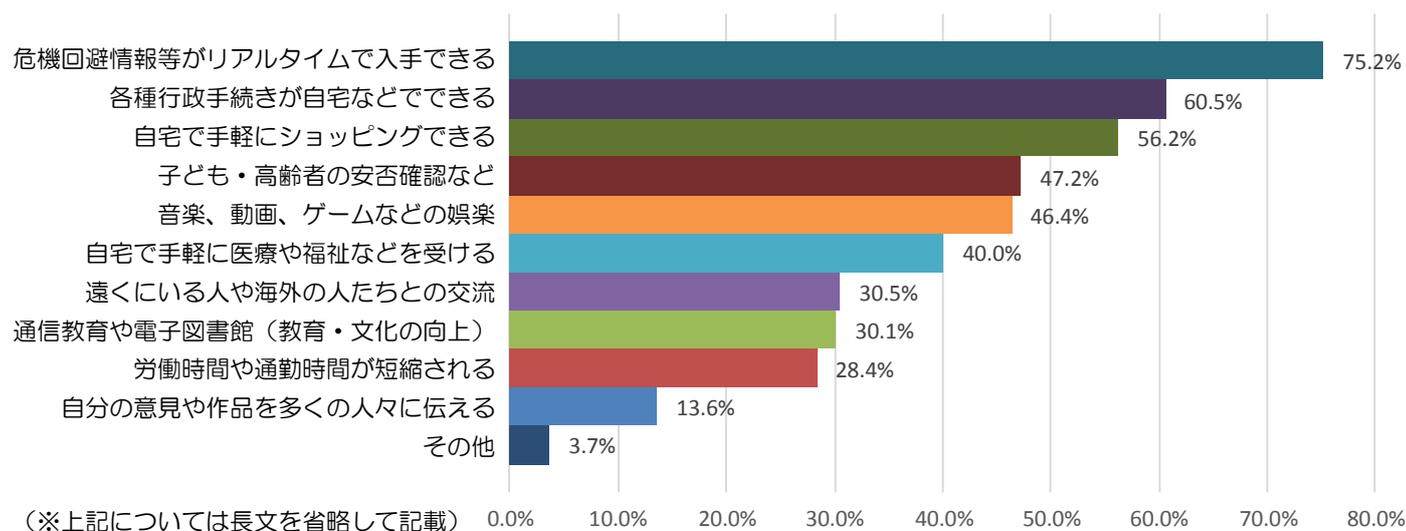
スマートフォンの保有率は78.6%となっており、全国の保有率79.7%（出典：総務省「令和2年通信利用動向調査／世帯構成員編」）と比較してやや低くなっています。また「その他」の回答としては「置き電話しかない」というものがありました。

また年代別のスマートフォン保有率は下記のとおりです。

10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
97%	86.2%	92.7%	86%	88.8%	80.4%	53.3%	25%

60歳代以下の方は、80%以上の高い割合でスマートフォンを保有していることがわかりました。70歳代から保有率が著しく下がり、80歳以上の方は4人に1人しかスマートフォンを保有していませんでした。

問2 インターネットに対してどのようなサービスをあなたは期待していますか。期待しているものを次の中から選んでください。(複数回答可)

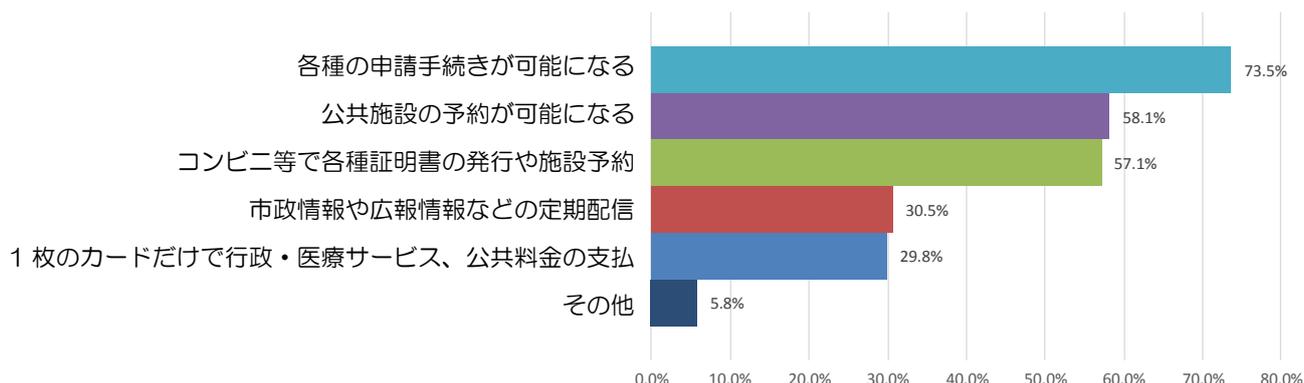


最も多かった回答は「台風や地震発生時などに、危機回避のための情報（避難勧告情報など）がリアルタイムで入手できる」の75.2%でした。

娯楽関係よりも危機回避のための情報や行政手続きについての情報に対する期待割合が高くなっています。

その他の意見としては、「行政の仕組み等（何をどこへ連絡したらよいか）がわかるようにしてほしい」「市議会議員の仕事ぶりが知れるページ。まとめページで分かり易く」という要望がありました。また、「インターネットは使わないのでわからない」「以前、インターネット教室に行ったがインターネットめんどうなので期待していない」「封書や人が訪ねてきたりの方が温かみがあり上記の内容は嫌い」など、デジタル技術に対する不信感を記入する方もいました。

問3 インターネットを利用した行政サービスに対して、あなたが期待するものを次の中から選んでください。（複数回答可）

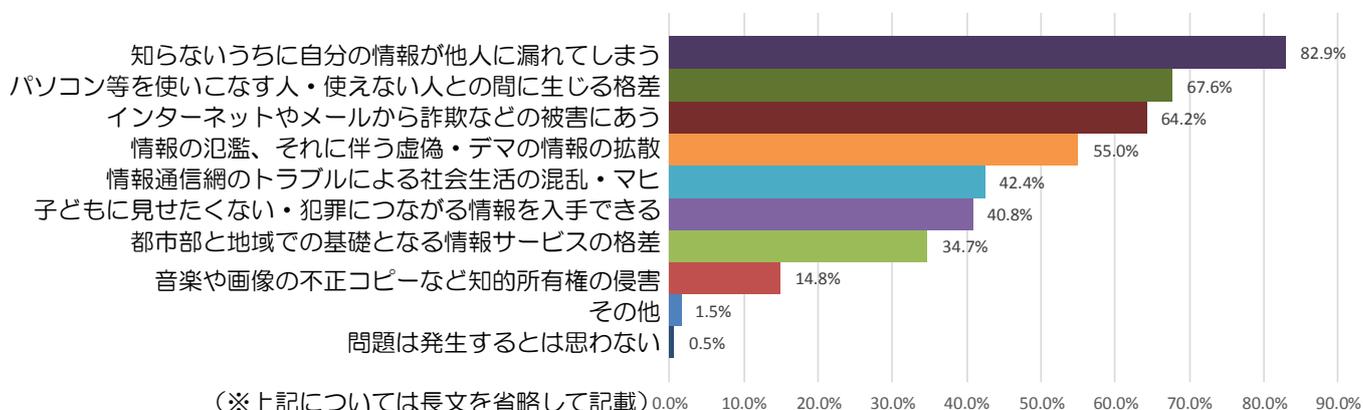


（※上記については長文を省略して記載）

最も多かった回答は「インターネットを通じて、各種の申請手続きが可能になる」の73.5%でした。

その他の意見としては、「勉強会、講演会などを、オンラインでできるといいなと思います。ズームなど」、「選挙などに出向かなくても投票できるようになればよいと思う」、「土日祝休みの仕事の人のためにインターネット申請等はすすめるべきだと思います」という意見がありました。否定的な意見としては、「使わないのでわかりません」、「携帯もやっとなので無理」、「TEL をして行政がしてくれて、準備ができれば依頼者まで訪ねて報告をしてほしい」というものがありました。

問4 情報化社会における不安や障害について、あなたがあてはまると思うものを次の中から選んでください。（複数回答可）



（※上記については長文を省略して記載）

最も多かった回答は「知らないうちに自分の情報が他人に漏れてしまう（パソコンやスマートフォンが知らないうちに「ウイルス」に感染してしまう。）」の82.9%でした。多くの方が問題は生じ得ると考えていて、

「問題は発生するとは思わない」と回答したのは0.5%だけでした。

その他の意見としては、「パソコンのOSのバージョンアップ、設定変更が難しい」、「会社のHPへの顔出しは情報化社会のマイナス面である」、「本人の知らないところで誹謗中傷などが行われること」、「権力による不法利用と統制強化」というものがありました。

問5 行政のデジタル化について、なにかご意見があればご自由にお書きください。

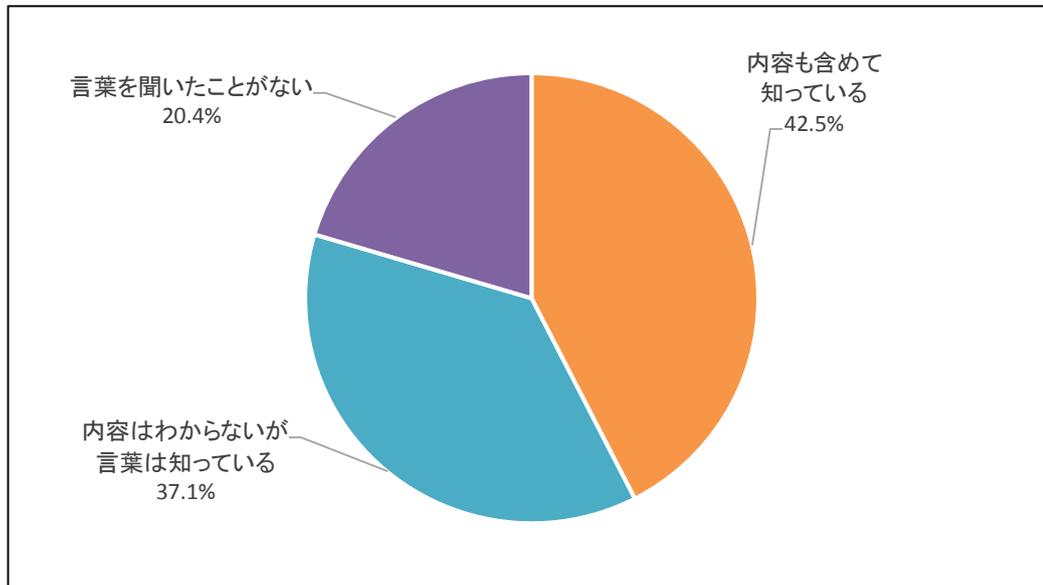
・マイナンバーにしたがあまり使う機会がありません。スマートフォンにすべて自分の情報を入れられるのも不安です。デジタル化によって行政はメリットを強調するがデメリットも知らせるべきです。

- ・情報機器の使用、活用に関して、無料の教室を開設してほしい。
- ・情報管理の徹底が確立されるまで実施すべきでないと思います。
- ・デジタル化することで、場所や時間を問わず、各種申請書の発行や予約の申請が行えるようになるとありがたいです。
- ・益々便利にはなりますが、年と共に使いこなせなくなる不安はあります。
- ・あまりに便利になってしまうことで、個人情報や他人に悪用される心配があります。高齢者はデジタル化に弱い人が多いので、かえって今よりか生活するのが不自由になってしまうおそれも考えられます。何かにつけて説明しないと色々が使えないようになった場合その使い方についてていねいに教えてもらえるとは限らないと思います。便利になるということは有難い事ではありますが、人によっては生活しづらくなってしまいうということも考えて欲しいものです。なのでセルフレジが有っても良くて人がやってくれるレジも有りというふうに弾力をもたせないと世の中大変なことになってしまうと思いますよ。
- ・各種手続きが書類記入や窓口での書類書込みではなくマイナンバーカードを利用したインターネットやスマートフォンからの手続きが可能になってほしい。
- ・手軽に使えるwifiなどもっと普及してほしい。たとえば地域の公民館など又、シニアの集う場所が35%以上の高齢化率でも整備されない。役所の窓口の分散化が必要。もし情報化計画すすめるなら地域に役所の人が出向いて直接住民と話したら何が問題かはわかれると私は思う。
- ・かんたんに使えるパソコンがあれば良い。
- ・行政のデジタル化はよくないと思います。人の顔を見て、思いが伝わる人と人の目と目を見て話をしたいと思う。
- ・インターネットで住民票や戸籍が取得できるのは便利だと思うが、情報ろえいが気になる所。住民票などが窓口に行かなくても手に入るようになれば便利ですね。印鑑証明などは窓口へ行くのもしょうがないとおもいますが。
- ・若い人は何事にも対応できるかもしれませんが我々（70代）には難しい事ばかりです。人によりけりかもしれませんが……。

（※上記以外にも多くのご意見をいただきました。全ての意見は、別紙「自由記述 問5」に掲載しています。ただし、個人情報・実在の企業名などが含まれるものについては、一部修正しています）

■ SDGs（エスディーゼーズ）について

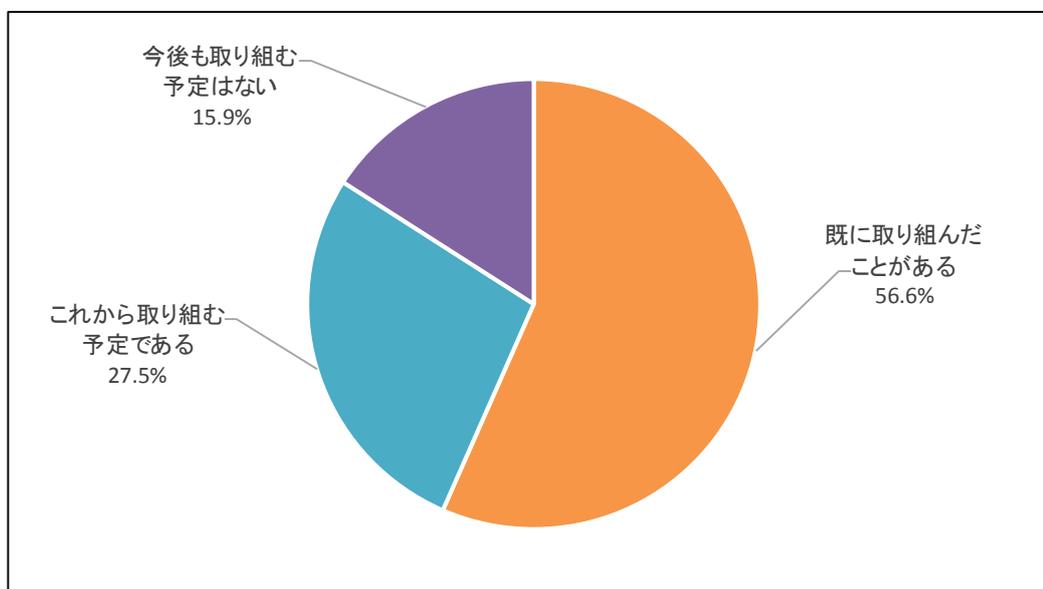
問6 SDGsという言葉を知っていますか。



最も多かった回答は「内容も含めて知っている」の42.5%であり、「内容はわからないが言葉は知っている」と回答した37.1%と合計すると、79.6%の人はSDGsという言葉を知っているということになりました。

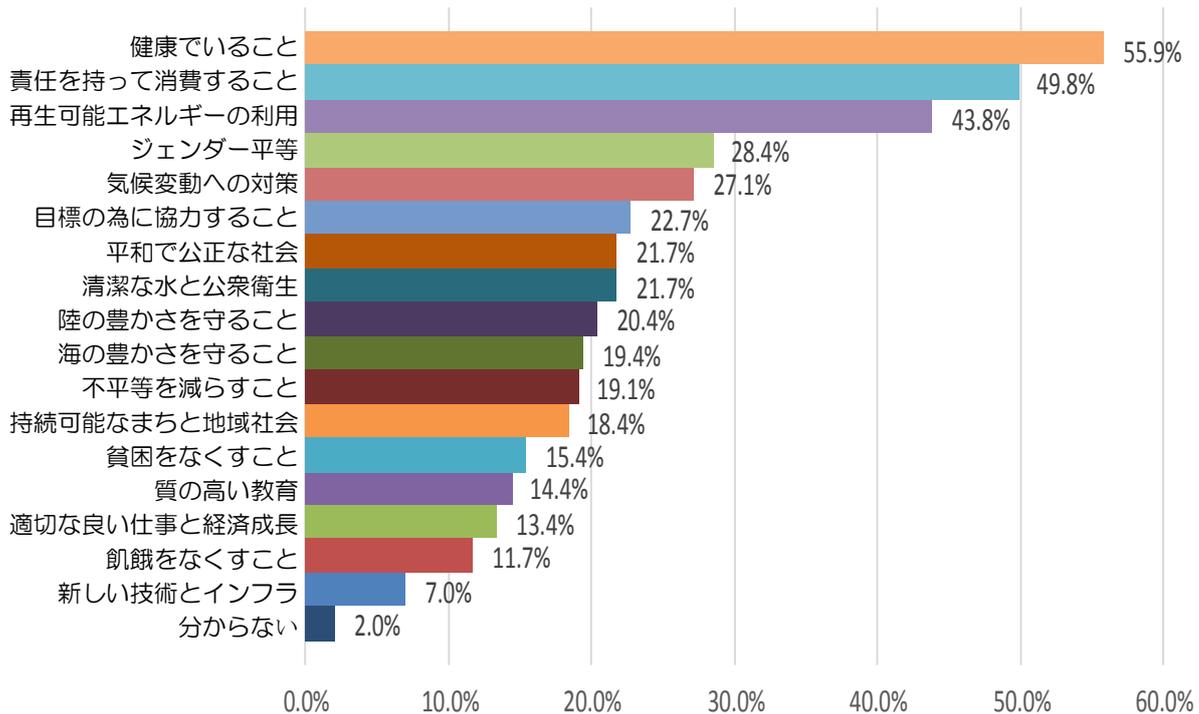
問7 問6で「1」と答えた方にうかがいます。

実際にSDGsに関して取り組んだことがありますか。



最も多かった回答は「既に取り組んだことがある」の56.6%であり、「これから取り組む予定である」と回答した27.5%と合計すると、84.1%の人はSDGsについて取り組む意思があるということになりました。

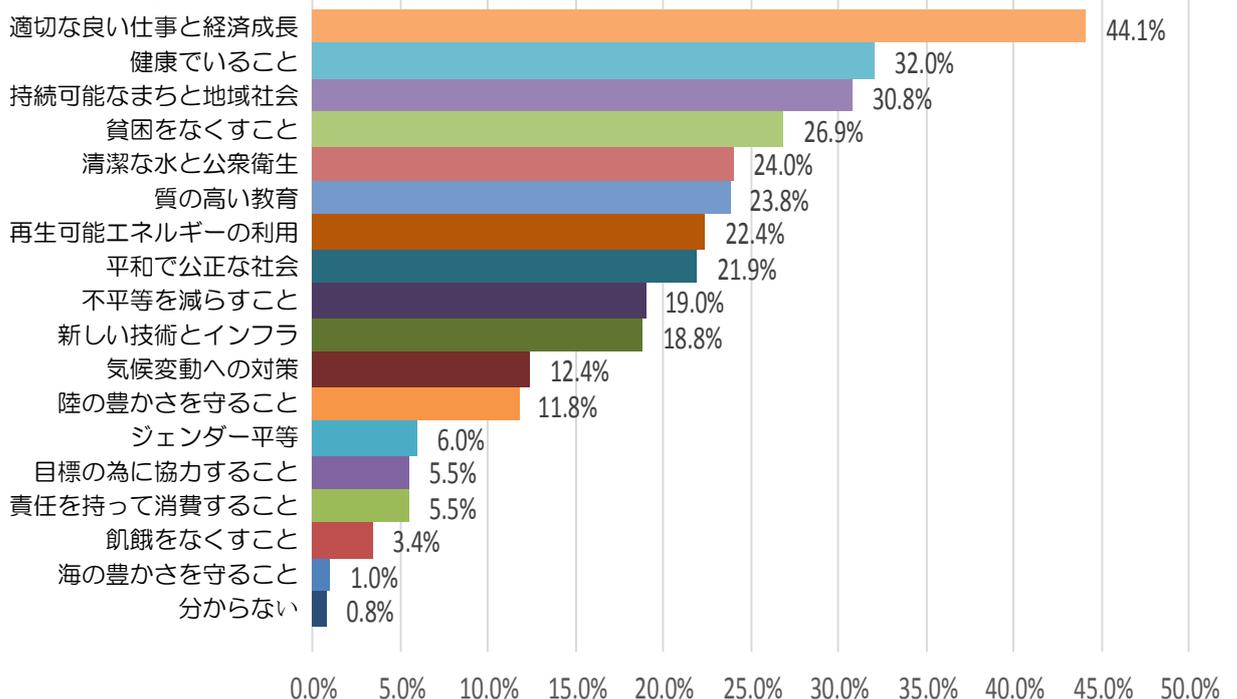
問8 問7で「1」または「2」と答えた方にうかがいます。
 その取り組みはどういった取り組みですか。（今後取り組む予定でも可）
 次の中から選んでください。（複数回答可）



最も多かった回答は「健康でいること」の55.9%、次が「責任を持って消費すること」の49.8%となっていました。

最も少なかった回答は、「分からない」という回答を除けば、「新しい技術とインフラ」の7.0%、次が「飢餓をなくすこと」の11.7%でした。

問9 今後、秩父市が持続可能なまちとなっていくために、どの目標の実現を重視するとよいと思いますか。次の中から選んでください。（3つまで回答可）



最も多かった回答は「適切な良い仕事と経済成長」の44.1%、次が「健康でいること」の32.0%となっていました。

最も少なかった回答は、「分からない」という回答を除けば、「海の豊かさを守ること」の1.0%、次が「飢餓をなくすこと」の3.4%でした。

問10 SDGsに関して、セミナーやワークショップなど、市に行ってほしいことがあれば、ご自由にお書きください。

・どんな取り組みをしているのか、市のサイトのわかりやすい場所に掲げて周知していただけると関心をもってもらえるのではないかと思います。

・今だに若者の都会離れはあると思います。安定した職業に就けるよう、企業誘致をし、もっと市が若者に対して優しい市であり、活性化したいものです。

・何もいない。

・もっとLGBTに関して。パートナーシップとか。

・当面はコロナ感染を落ち着かせることでしょうから、人あつめのなところは控えてほしい気がします。やらなければならない…という強制的な感じであるとまずいかな？と考えます。あまり特別な事をやり始めるというのではなくて、たとえば貧困をなくすとしたら、安定した収入を得られるような（パートでも可）仕事のお世話をすることでしょうか？背のびをするのではなくて、小さな事から地道にやるのが大切かと。田舎は田舎の良さを大切にしながら生活することで、さほど大ごとを考えずともSDGsの実現ってできるでしょ。と思う。

・具体的な案はありませんが、セミナー、ワークショップを市でどんどんやってほしい。

・1) 情報インフレの整備、2) 情報の入手が出来ないシニア対策への仕組みづくり、3) 役所行政の窓口のタテ割りをなくす。もっと住民目線での窓口の設置。役所職員が多すぎる（無駄）

・SDGs活動で有名な方の講演会やパレードを行う。

・年配の方にもよく知ってもらいたい課題なので、SDGsの意味をわかりやすく説明してもらいたい。

・言葉を聞いた事も意味もわからないので書くことが出来ません。

・市で取り組んでいる事を市民に知ってもらえる情報発信をしてほしいと思います。

・SDGsは表向き良いことを言っていますが最終的には富裕層の利益のためだと思います。個別の取り組みは必要なものが多いですがSDGsには賛同しません。

・国連が定めたからとSDGsなどと急にマスコミ等で騒ぎたてているが、学校教育においては環境教育をして20年も前から取り組み、「環境にやさしい生活」の実践として、不必要な電気機器のスイッチを切るとか、ゴミの3Rとかを教育し、実践することを促してきた。秩父市においても環境立市秩父市を掲げ、再生可能エネルギーの活用を図って来たと思う。こうした経緯をしっかりと踏まえ、SDGsに取り組んでもらいたい。正しく持続的にして効果的な取り組みとなり、秩父市を持続可能な脱炭素シティ「こうしてこそ」に造り上げるものとする。

（※上記以外にも多くのご意見をいただきました。全ての意見は、別紙「自由記述 問10」に掲載しています。ただし、個人情報・企業名などが含まれるものについては、一部修正しています）

問11 秩父市のまちづくりの満足度と重要度について。

市の取り組み項目（質問事項）

1	労働環境の充実	12	市立病院の充実	23	特色ある教育の実施	34	安心安全な市民生活
2	雇用の促進	13	医療保険・年金の運営	24	家庭・地域の教育力の向上	35	市民協働と情報共有
3	創業の支援	14	社会福祉の充実	25	生涯学習の充実	36	広域水道との連携
4	企業立地の推進	15	高齢者福祉の充実	26	歴史文化の保存・活用	37	污水处理施設の整備
5	商工業事業者の支援	16	障がい者福祉の充実	27	芸術文化・スポーツの振興	38	道路交通網等の整備
6	中心市街地の活性化	17	市民の健康支援	28	自然環境保全活動の推進	39	まちなみ・住環境の整備
7	観光誘客の推進	18	健康な長寿社会	29	地球温暖化対策の推進	40	地方創生の推進
8	観光産業の育成	19	子育て支援体制の推進	30	ごみ対策の推進	41	広域連携（定住自立圏の推進）
9	農業水産業の育成支援	20	子育て支援環境の充実	31	生活環境保全対策の推進	42	行政のデジタル化
10	森林・林業・木材産業の育成と森林保全	21	教育環境の充実	32	衛生対策の推進	43	行政運営
11	医療体制の整備	22	教育内容の充実	33	防災力・防犯対策の強化	44	健全な財政運営・FMの推進

1～10「産業経済」分野、11～18「医療・福祉・保健」分野、19～27「子育て・教育」分野
28～32「環境」分野、33～39「社会基盤」分野、40～42「総合」分野、43～44「行財政運営」分野

令和3年度から、第2次秩父市総合振興計画の後期基本計画期間となります。上記の市の取り組み項目は後期基本計画に基づいています。

また次ページ以降は、前回調査である令和元年度市民意識調査（令和2年1月実施）の結果との比較を掲載します。令和元年度は前期基本計画期間であったため、市の取り組み項目が現在のものとは違っている場合があります。その変更については、下記のとおりです。

名称が変更となった項目

令和元年度項目			令和4年度項目	
3	企業の支援	⇒	3	創業の支援
13	国保・保険年金の運営	⇒	13	医療保険・年金の運営
28	生物多様性の保全	⇒	28	自然環境保全活動の推進
29	地球環境の保全	⇒	29	地球温暖化対策の推進
35	上水道の整備	⇒	36	広域水道との連携
37	道路等の整備	⇒	38	道路交通網等の整備
39	効率的・効果的な行政運営	⇒	43	行政運営
40	健全な財政運営	⇒	44	健全な財政運営・FMの推進

新たに追加された項目

35	市民協働と情報共有
40	地方創生の推進
41	広域連携（定住自立圏の推進）
42	行政のデジタル化

令和4年度満足度		
順位	取り組み項目	ポイント
1	観光誘客の推進	3.93
2	歴史文化の活用・支援	3.81
3	安心安全な市民生活	3.74
4	汚水処理施設の整備	3.72
5	広域水道との連携	3.72
6	ごみ対策の推進	3.72
7	観光産業の育成	3.65
8	健康な長寿社会	3.65
9	市民協働と情報共有	3.63
10	芸術文化・スポーツの振興	3.63
11	防災力・防犯対策の強化	3.62
12	まちなみ・住環境の整備	3.58
13	自然環境保全活動の推進	3.56
14	市民の健康支援	3.55
15	衛生対策の推進	3.54
16	子育て支援環境の充実	3.50
17	子育て支援体制の推進	3.50
18	生涯学習の充実	3.49
19	教育環境の充実	3.47
20	障がい者福祉の充実	3.45
21	家庭・地域の教育力の向上	3.44
22	広域連携（定住自立圏の推進）	3.44
23	高齢者福祉の充実	3.42
24	生活環境保全対策の推進	3.42
25	教育内容の充実	3.41
26	地方創生の推進	3.40
27	中心市街地の活性化	3.38
28	道路交通網等の整備	3.37
29	健全な財政運営・FMの推進	3.35
30	特色ある教育の実施	3.31
31	商工業事業者の支援	3.30
32	社会福祉の充実	3.29
33	創業の支援	3.29
34	農業水産業の育成支援	3.26
35	行政運営	3.23
36	地球温暖化対策の推進	3.23
37	森林・林業・木材産業の育成と森林保全	3.22
38	行政のデジタル化	3.17
39	医療保険・年金の運営	3.11
40	企業立地の推進	3.09
41	労働環境の充実	3.03
42	雇用の促進	3.00
43	医療体制の整備	2.93
44	市立病院の充実	2.92
全体平均		3.42

令和元年度満足度		
順位	取り組み項目	ポイント
1	上水道の整備	4.02
2	ごみ対策の推進	4.00
3	汚水処理施設の整備	3.95
4	観光誘客の推進	3.94
5	安心安全な市民生活	3.90
6	防災力・防犯対策の強化	3.84
7	子育て支援体制の推進	3.83
8	歴史文化の活用・支援	3.83
9	子育て支援環境の充実	3.82
10	芸術文化・スポーツの振興	3.81
11	教育環境の充実	3.78
12	市民の健康支援	3.77
13	生涯学習の充実	3.76
14	健康な長寿社会	3.74
15	衛生対策の推進	3.74
16	生活環境保全対策の推進	3.72
17	まちなみ・住環境の整備	3.72
18	家庭・地域の教育力の向上	3.67
19	生物多様性の保全	3.67
20	観光産業の育成	3.65
21	教育内容の充実	3.64
22	地球環境の保全	3.64
23	障がい者福祉の充実	3.62
24	社会福祉の充実	3.60
25	高齢者福祉の充実	3.59
26	特色ある教育の実施	3.55
27	健全な財政運営	3.50
28	道路等の整備	3.48
29	効率的・効果的な行政運営	3.47
30	国保・保険年金の運営	3.40
31	中心市街地の活性化	3.39
32	商工業事業者の支援	3.38
33	起業の支援	3.33
34	農業水産業の育成支援	3.30
35	森林・林業・材木産業の育成と森林保全	3.25
36	医療体制の整備	3.22
37	企業立地の推進	3.19
38	市立病院の充実	3.19
39	労働環境の充実	3.18
40	雇用の促進	3.06
全体平均		3.60

令和元年度から全体的に満足度が低下しました。

上位4項目については、比較的低下の少なかった「観光誘客の推進」（4位→1位）や微増した「歴史文化の活用・支援」（8位→2位）が順位を上げました。

下位4項目については、コロナ禍の影響を受けたためか「医療体制の整備」（36位→43位）や「市立病院の充実」（38位→44位）などの医療関係が順位を下げました。

令和4年度重要度		
順位	取り組み項目	ポイント
1	医療体制の整備	5.46
2	市立病院の充実	5.34
3	雇用の促進	5.34
4	労働環境の充実	5.28
5	子育て支援体制の推進	5.19
6	医療保険・年金の運営	5.15
7	子育て支援環境の充実	5.15
8	防災力・防犯対策の強化	5.13
9	教育環境の充実	5.07
10	教育内容の充実	5.06
11	ごみ対策の推進	5.05
12	道路交通網等の整備	5.04
13	地球温暖化対策の推進	5.03
14	高齢者福祉の充実	4.99
15	企業立地の推進	4.98
16	安心安全な市民生活	4.96
17	障がい者福祉の充実	4.94
18	社会福祉の充実	4.94
19	森林・林業・木材産業の育成と森林保全	4.92
20	市民の健康支援	4.91
21	中心市街地の活性化	4.91
22	生活環境保全対策の推進	4.91
23	汚水処理施設の整備	4.89
24	衛生対策の推進	4.88
25	観光誘客の推進	4.88
26	広域水道との連携	4.87
27	自然環境保全活動の推進	4.81
28	創業の支援	4.80
29	まちなみ・住環境の整備	4.80
30	農業水産業の育成支援	4.80
31	行政運営	4.76
32	健康な長寿社会	4.76
33	行政のデジタル化	4.73
34	商工業事業者の支援	4.69
35	健全な財政運営・FMの推進	4.69
36	歴史文化の活用・支援	4.65
37	特色ある教育の実施	4.65
38	観光産業の育成	4.64
39	地方創生の推進	4.63
40	市民協働と情報共有	4.50
41	生涯学習の充実	4.50
42	広域連携（定住自立圏の推進）	4.49
43	芸術文化・スポーツの振興	4.45
44	家庭・地域の教育力の向上	4.44
全体平均		4.90

令和元年度重要度		
順位	取り組み項目	ポイント
1	医療体制の整備	5.56
2	市立病院の充実	5.55
3	雇用の促進	5.51
4	労働環境の充実	5.47
5	防災力・防犯対策の強化	5.38
6	健全な財政運営	5.25
7	国保・保険年金の運営	5.24
8	子育て支援体制の推進	5.21
9	子育て支援環境の充実	5.21
10	上水道の整備	5.20
11	道路等の整備	5.20
12	高齢者福祉の充実	5.19
13	効率的・効果的な行政運営	5.18
14	安心安全な市民生活	5.17
15	教育内容の充実	5.15
16	ごみ対策の推進	5.15
17	企業立地の推進	5.14
18	汚水処理施設の整備	5.14
19	教育環境の充実	5.13
20	社会福祉の充実	5.12
21	市民の健康支援	5.12
22	障がい者福祉の充実	5.10
23	観光誘客の推進	5.08
24	地球環境の保全	5.06
25	生活環境保全対策の推進	5.06
26	中心市街地の活性化	5.05
27	まちなみ・住環境の整備	5.05
28	起業の支援	5.03
29	森林・林業・材木産業の育成と森林保全	5.03
30	健康な長寿社会	5.03
31	観光産業の育成	5.01
32	衛生対策の推進	4.98
33	農業水産業の育成支援	4.95
34	商工業事業者の支援	4.94
35	特色ある教育の実施	4.84
36	家庭・地域の教育力の向上	4.77
37	芸術文化・スポーツの振興	4.75
38	生涯学習の充実	4.73
39	生物多様性の保全	4.73
40	歴史文化の活用・支援	4.66
全体平均		5.10

満足度と同様に重要度についても令和元年度から全体的に低下しました。

しかし上位4項目についてはポイントは下がっていましたが順位に変動はなく、多くの方が医療関係と雇用・労働について引続き重要だと考えていることがわかりました。

下位4項目では、「家庭・地域の教育力の向上」（36位→44位）の順位が下がり、「歴史文化の活用・支援」（40位→39位）の順位が上がる結果となりました。

満足度				重要度			
順位	取り組み項目	ポイント	令和元年 ポイント	順位	取り組み項目	ポイント	令和元年 ポイント
1	観光誘客の推進	3.93	3.94	1	医療体制の整備	5.46	5.56
2	歴史文化の活用・支援	3.81	3.83	2	市立病院の充実	5.34	5.55
3	安心安全な市民生活	3.74	3.90	3	雇用の促進	5.34	5.51
4	汚水処理施設の整備	3.72	3.95	4	労働環境の充実	5.28	5.47
5	広域水道との連携	3.72	4.02	5	子育て支援体制の推進	5.19	5.21
6	ごみ対策の推進	3.72	4.00	6	医療保険・年金の運営	5.15	5.24
7	観光産業の育成	3.65	3.65	7	子育て支援環境の充実	5.15	5.21
8	健康な長寿社会	3.65	3.74	8	防災力・防犯対策の強化	5.13	5.38
9	市民協働と情報共有	3.63	新規	9	教育環境の充実	5.07	5.13
10	芸術文化・スポーツの振興	3.63	3.81	10	教育内容の充実	5.06	5.15
11	防災力・防犯対策の強化	3.62	3.84	11	ごみ対策の推進	5.05	5.15
12	まちなみ・住環境の整備	3.58	3.72	12	道路交通網等の整備	5.04	5.20
13	自然環境保全活動の推進	3.56	3.67	13	地球温暖化対策の推進	5.03	5.06
14	市民の健康支援	3.55	3.77	14	高齢者福祉の充実	4.99	5.19
15	衛生対策の推進	3.54	3.74	15	企業立地の推進	4.98	5.14
16	子育て支援環境の充実	3.50	3.82	16	安心安全な市民生活	4.96	5.17
17	子育て支援体制の推進	3.50	3.83	17	障がい者福祉の充実	4.94	5.10
18	生涯学習の充実	3.49	3.76	18	社会福祉の充実	4.94	5.12
19	教育環境の充実	3.47	3.78	19	森林・林業・木材産業の育成と森林保全	4.92	5.03
20	障がい者福祉の充実	3.45	3.62	20	市民の健康支援	4.91	5.12
21	家庭・地域の教育力の向上	3.44	3.67	21	中心市街地の活性化	4.91	5.05
22	広域連携（定住自立圏の推進）	3.44	新規	22	生活環境保全対策の推進	4.91	5.06
23	高齢者福祉の充実	3.42	3.59	23	汚水処理施設の整備	4.89	5.14
24	生活環境保全対策の推進	3.42	3.72	24	衛生対策の推進	4.88	4.98
25	教育内容の充実	3.41	3.64	25	観光誘客の推進	4.88	5.08
26	地方創生の推進	3.40	新規	26	広域水道との連携	4.87	5.20
27	中心市街地の活性化	3.38	3.39	27	自然環境保全活動の推進	4.81	4.73
28	道路交通網等の整備	3.37	3.48	28	創業の支援	4.80	5.03
29	健全な財政運営・FMの推進	3.35	3.50	29	まちなみ・住環境の整備	4.80	5.05
30	特色ある教育の実施	3.31	3.55	30	農業水産業の育成支援	4.80	4.95
31	商工業事業者の支援	3.30	3.38	31	行政運営	4.76	5.18
32	社会福祉の充実	3.29	3.60	32	健康な長寿社会	4.76	5.03
33	創業の支援	3.29	3.33	33	行政のデジタル化	4.73	新規
34	農業水産業の育成支援	3.26	3.30	34	商工業事業者の支援	4.69	4.94
35	行政運営	3.23	3.47	35	健全な財政運営・FMの推進	4.69	5.25
36	地球温暖化対策の推進	3.23	3.64	36	歴史文化の活用・支援	4.65	4.66
37	森林・林業・木材産業の育成と森林保全	3.22	3.25	37	特色ある教育の実施	4.65	4.84
38	行政のデジタル化	3.17	新規	38	観光産業の育成	4.64	5.01
39	医療保険・年金の運営	3.11	3.40	39	地方創生の推進	4.63	新規
40	企業立地の推進	3.09	3.19	40	市民協働と情報共有	4.50	新規
41	労働環境の充実	3.03	3.18	41	生涯学習の充実	4.50	4.73
42	雇用の促進	3.00	3.06	42	広域連携（定住自立圏の推進）	4.49	新規
43	医療体制の整備	2.93	3.22	43	芸術文化・スポーツの振興	4.45	4.75
44	市立病院の充実	2.92	3.19	44	家庭・地域の教育力の向上	4.44	4.77
全体平均		3.42	3.60	全体平均		4.90	5.10

満足度の変化が大きかったのは「地球温暖化対策の推進」(-0.41)と、「子育て支援体制の推進」(-0.33)、「子育て支援環境の充実」(-0.32)、「教育環境の充実」(-0.31)等で、教育関係の減少が目立ちました。

重要度の変化が大きかったのは「健全な財政運営・FMの推進」(-0.56)、「行政運営」(-0.42)、「観光産業の育成」(-0.37)、「家庭・地域の教育力の向上」(-0.33)でした。

【満足度・重要度のクロス分析】

満足度を縦軸、重要度を横軸にとり、クロス分析を行いました。ポイントについては、評価点ごとに回答数をかけ、その合計を回答実数で割って求めています。

皆さんに回答していただいた満足度・重要度の高低により、4つのゾーンに区分し、市民意識の傾向と今後の施策の取り組みについて整理しました。

満足度 高	満足度 高
重要度 低	重要度 高
抑制ゾーン	維持ゾーン
満足度 低	満足度 低
重要度 低	重要度 高
成果向上ゾーン	重点化ゾーン

■維持ゾーン

市民の満足度を維持しながら、より効率的な事務事業の執行が求められる施策。

■抑制ゾーン

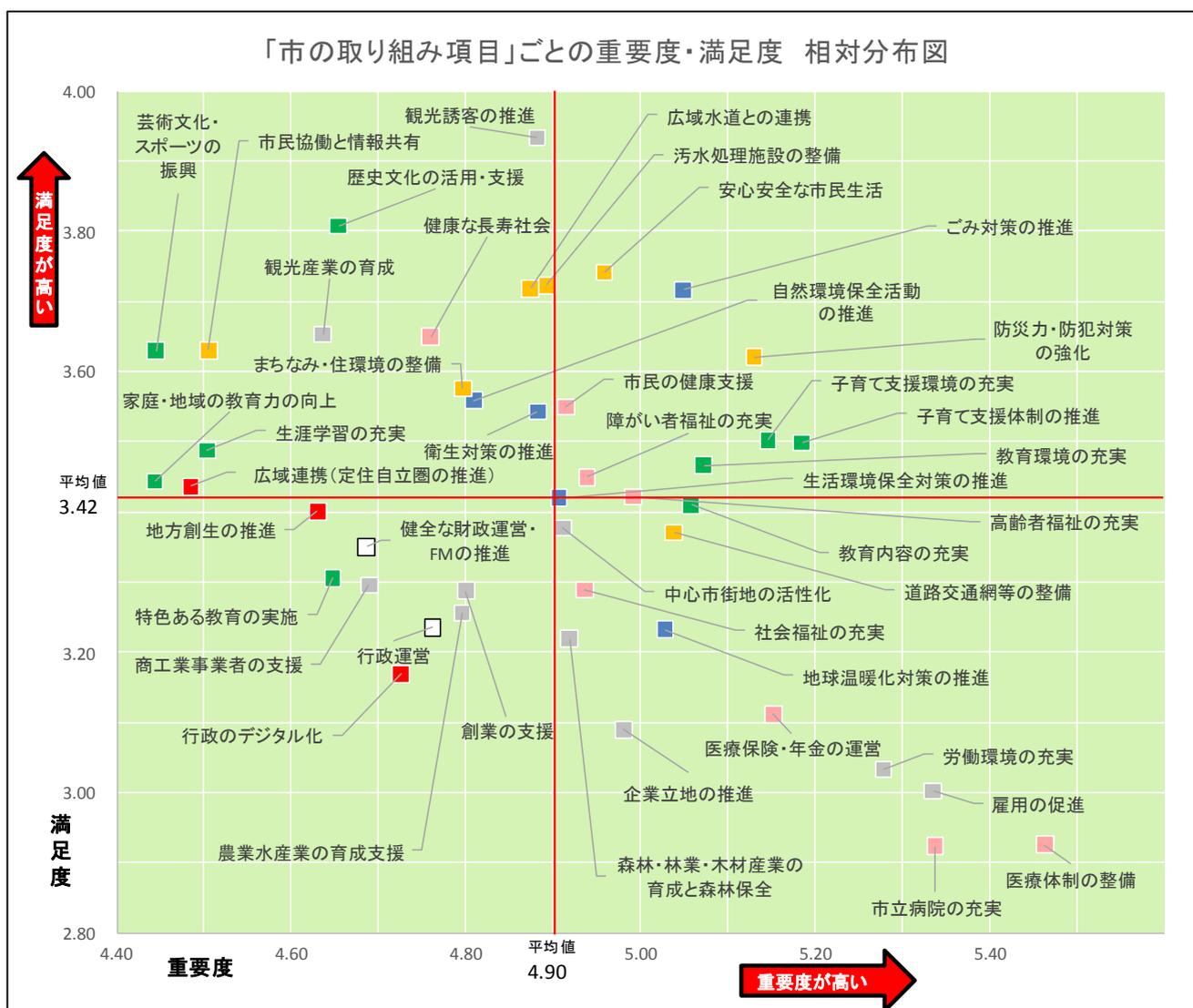
市民の重要度を踏まえた満足度の確保に向けて、事務事業の改善（費用対効果の見直しなど）が求められる施策。

■成果向上ゾーン

市民の満足度、重要度を踏まえて、事務事業の充実や施策の見直しが求められる施策。

■重点化ゾーン

市民の満足度を高めるため、重点的な取り組みが求められる施策。



■産業経済分野 ■医療・福祉・保険分野 ■子育て・教育分野 ■環境分野 ■社会基盤分野 ■総合分野 □行財政運営分野

■これからのまちづくりに関するご意見等（抜粋）

- ・ライフラインの整備はきちんと行って、安心して暮らせるようにお願いします。
 - ・秩父地域は自然災害など地理的環境で優位であるため、今後は大学など教育機関や企業、行政機関に対して積極的に誘致すべきだと思います。（自然災害が他地域と比べて少ない）
 - ・出産祝金の拡充等、さまざま取り組んでいただいておりますが、もっと子育て支援の政策が充実していったらいいなと思います。
 - ・医療施設の充実を。何より優秀な医師の確保を。
 - ・住宅について気になり、このところ一人世帯のアパートの家賃について調べております。全体的に秩父の家賃が（田舎の割りに高く、ビックリしています！5万～7万円、さほど広くない1K、1DKでその様な家賃！因みに飯能市など便が良いのに2～3万円の家賃です。これでは若者が離れるのが分かります。住みやすいまちづくりはこういう所からなのでは？
 - ・番場通りのシャッター店がもったいない。秩父のメインになるような通りにしてほしい。ミューズパークブールを絶対直して欲しい。群馬県はどこへ行っても外レジャー、室内アミューズメント豊富！！見習って欲しい。
 - ・自然と必要と思われるグループが作られていくことは理想的だと思いますが、「～だから～しなくてはならない」的に物事が行われてゆく世の中は理想ではありません。積極的に行動するのを好む人と静かに生活していく事を好む人が居るからです。人それぞれの生活スタイルがあるわけで田舎は田舎の良さを大切にできればいいなあと思います。つまりは日々変化する世の中で、人それぞれの権利を重んじて生活できることがベスト!!かと…。色んな意味で親切心が大きなおせっかいとならぬよう私自身も考えてます。
- 番場通りの観光客が土日祝日に多くの人々が来るようになり、車の利用が不便になったので改善して欲しい。又、番場通り、東町通りの交わる所付近に観光案内所や地図などを設置して欲しい。番場通りに観光案内所は意味がない。
- ・子供たちを皆で育てていけるような社会にしてほしいです。見守っていける環境づくりを増やしてほしい。SNS、HPが使えない人たちでも有益な情報をきちんと得ることができるようにして欲しいです。
- 市民から要望のあった事について（体育施設の拡充等）は、要望の本気度をふまえた上で99%の確率で受け入れて工事を実施していただきたい。国道140号の常に発生している渋滞の緩和のために観光客のマイカーでの来訪の禁止、公共交通機関の利用の徹底、芝桜の公開中止、等を検討して実行していただきたい。
- 道路がまだまだ狭い所があるので、子供達の登下校の時、車を運転するのが心配な時があります。
- ・秩父は災害もなく住みやすい所だと思っております。他から来た若い子達に秩父に住むように進めています。これからも隅々まで気を配り住み良い秩父市にしてほしいと願っております。
 - ・シニアの高齢化率35%の現状！！若年層へは子供を育てる環境づくりと助成！！高齢者へはもっと活躍出来る場（仕事や役割など）具体的な行政の仕組みが少なすぎる。シルバー人材、社協など、シニアの窓口（行政サービス含む）の一元化は出来ないのか（高齢者福祉課）など、もっと分かりやすいネーミングはないのでしょうか？
 - ・日頃の業務おつかれさまです。住み良いまちづくりのため、頑張ってください。応援しています。
 - ・優良企業の誘致をして、人口を増やし、若い人が住み続けられる秩父市にしてほしい。
 - ・若い人達が結婚してくれると良いと思います。そういう出会いの場所を考えてくれるといいですね。

（※上記以外にも多くのご意見をいただきました。全ての意見は、別紙「まちづくりに関するご意見」に掲載しています。ただし、個人情報・企業名などが含まれるものについては、一部修正しています）